

令和3年度

事業報告

公益財団法人 瀬戸市文化振興財団

目 次

I. 事業概要	1
II. 事業説明及び事業実績	
1. 文化施設を活用して、市民が文化芸術に触れる機会と場を提供する事業 (公益目的事業1)	6
2. 市民の主体的な文化芸術活動を支援し奨励する事業 (公益目的事業2)	12
3. 文化財に関する調査・研究及び情報提供を行う事業 (公益目的事業3)	16
4. 公益目的事業の推進に資するために行う事業 (収益事業1)	18
III. 庶務の概要	19
IV. 付属明細書	22

I. 事業概要

当財団は、令和3年度事業の実施にあたり、公益財団法人として公正な事業運営に努めるとともに、市民をはじめ多くの方に親しまれ、満足いただける文化振興事業の展開に尽力してまいりました。

その一方で、国及び市からの補助金を受けて事業を実施する法人として、財務状況の分析を的確に行い、効率的な経営に努めるとともに、受益者負担による自主財源の確保にも積極的に取り組み、安定的かつ持続的な財団運営に努めているところです。

また、これまで瀬戸市の文化行政と連携した事業展開を図り、文化芸術振興と文化財保護の一翼として、「やきもの」を基軸とした文化を育むまちづくりに寄与してまいりました。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症は、私たちの社会生活に大きな影響を及ぼし、瀬戸市文化センターの休館等により十分な事業が実施できませんでした。しかしながら、感染症対策に十分配慮した上で、文化ホール公演の事業や美術鑑賞の事業等を行い、市民の皆さんが文化芸術を身近に感じられる機会を提供いたしました。

1. 文化施設を活用して、市民が文化芸術に触れる機会と場を提供する事業 (公益目的事業1)

文化芸術の振興を図るため、文化施設を活用して様々な分野の鑑賞事業や体験事業などを実施いたしました。そして、市民が身近に文化芸術に触れる場を安定的に確保、提供することにより、ゆとりと潤いが実感できる豊かな市民生活に寄与することを目的に事業を行いました。

【舞台鑑賞の機会を提供する事業】

文化ホール公演事業では、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた公演を中止・延期とせざるを得ないものもありました。

しかし、そうした中でも持続可能な事業とするべく、すべての公演で文化ホール全体を活用し、座席は前後左右1席空きの配席とするなど、感染症対策をしっかりと図り、安全・安心でゆったりとした贅沢な鑑賞空間を提供する形で開催をしました。公演内容としては、クラシック音楽、ジャズ音楽、落語、雅楽と多岐にわたるジャンルに取り組み、幅広いお客様に舞台芸術を鑑賞する機会を提供しました。

その中でも、これまで舞台上で間近でジャズ音楽を楽しめる公演として親しまれてきた「Jazz Juzz つなぎ」では、総勢9人のアーティストに出演いただきホール全体でも迫力を損なわない公演としました。

また、瀬戸市に縁のあるアーティストにも多く出演いただきました。特に「いいもんせともんコンサート 弦楽器のおしごと」では、大阪フィルハーモニー交響楽団で首席奏者を務める瀬戸市出身のヴァイオリニスト宮田英恵さんを中心に、全国の各楽団の首席奏者などを務める演奏者に出演いただき、弦楽器の演奏を楽しんでいただく公演を開催しました。

新たな取り組みとしては、「CloSeToYou Classic」と題して、感染症対策を図りながらも、音楽を身近に感じてもらえるように舞台を客席の中に作り、舞台と客席の一体感のある空間を目指した公演を開催しました。

また、これらの公演に、より関心を持っていただくための関連事業として、ジャズ音楽講座や動画配信サービス（YouTube）を活用し、「陶壁クラシックちゃんねる」の配信を実施しました。

その他、誰もが気軽に文化ホールのグランドピアノを演奏し、ピアノの良さや演奏する楽しさを実感できる企画として、「文化ホール誰でも陶壁ピアノ」を実施しました。やきもののまちならではのストリートピアノとして、文化ホールロビーにある加藤唐九郎作陶壁「炎舞」の前にピアノを設置することで特徴あるものとし、さらに陶祖まつりの開催期間中に実施することでシティプロモーションの一環という側面も持った事業としました。

【美術鑑賞の機会を提供する事業】

美術館では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために2回臨時休館したことに伴い、会期を調整しながら特別企画展、特別展、企画展を開催しました。

そのうち、特別展「帰郷の輸出陶磁—横山美術館収蔵名品展—」では、会期中途中で緊急事態宣言に伴う臨時休館となりましたが、横山美術館様の多大なるご協力により、当初5月30日までであった会期を8月1日まで延期することができ、80点以上もの名品を多くの方にご覧いただくことができました。

特別展「池袋モンパルナス—画家たちの交差点—」では、一般財団法人地域創造からの助成により、板橋区立美術館及び豊島区の所蔵品を80点以上お借りし、地域ゆかりの画家である北川民次の作品とともに展覧しました。池袋モンパルナスは、アトリエが建ち並び多くの芸術家たちが集い交流した地ですが、そこには北川民次も一時期を過ごしており、地域ゆかりの北川民次を通して池袋モンパルナスを紹介しました。

また、「川本治兵衛—瀬戸染付の精華そして湖東焼—」展は、加藤民吉生誕250年のプレ事業として開催し、瀬戸染付の精華を極めた治兵衛の作品を一堂に展示するとともに、湖東焼を展示することで、瀬戸の磁器生産技術の伝播の様子をご覧いただきました。

これらの展示に、より関心を持っていただくための関連事業として、ギャラリートーク、ワークショップ、北川民次のアトリエ公開などを実施しました。

新世紀工芸館では、現代陶芸やガラス工芸を扱う施設として、国内外で活躍する若手作家が制作した、多彩で創造性に優れた作品を紹介する企画展を開催しました。また、「第17期研修修了生・第18期研修生作品展」では、革新的な陶芸やガラス工芸の作品を広く紹介することができました。交流棟のギャラリーでは、登録作家による陶磁器とガラスを素材とする季節に合わせた多種多様な作品を展示（販売）しました。

瀬戸染付工芸館は、瀬戸染付の技術伝承を目的とする施設として、歴史的価値のある瀬戸染付の企画展を開催しました。また、「瀬戸染付工芸館修了生作品展」や「瀬戸染付工芸館研修生作品展」を開催し、現代の瀬戸染付の作品を紹介しました。本館1階では「新進染付作家作品展」を開催し、当館の研修を修了後も活躍している染付作家の作品を展示（販売）しました。

【体験活動の機会を提供する事業】

新世紀工芸館及び瀬戸染付工芸館では、現代陶芸やガラス工芸のほか、やきものの文化と瀬戸染付の伝統的な技法を紹介するため、各種体験教室を開催しました。新世紀工芸館では、陶芸やガラス工芸に、初心者でも気軽に参加でき、手づくりの魅力を体験できる機会となりました。

また、瀬戸染付工芸館では、初心者から上級者まで幅広い絵付け体験ができ、染付技術の理解と普及に繋がりました。

【国際性豊かな芸術文化に触れる機会を提供する事業】

韓国利川市在住の陶芸作家盧承哲(ノ・スンチョル)氏がオンラインで参加し、栃木県宇都宮市在住の陶芸作家杉山絵子氏が、瀬戸で滞在制作を行いました。関連イベントとして、スライドレクチャー&公開制作を開催しました。また、両氏がレジデンス期間中に制作した作品の展覧会を瀬戸市美術館にて開催しました。事業を通じ、市民に国際的に活躍する作家を身近に感じてもらうことにより、レジデンス事業の普及や瀬戸陶芸の発展に貢献しました。

【文化芸術に触れる場の提供を行う事業】

文化ホールや文化交流館を文化芸術に親しむ場として提供し、文化団体等の主体的・創造的な活動を支援しました。文化センター全体では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月26日から6月20日まで、8月30日から9月30日までを全館休館としたことから、使用件数、利用人数の減少が顕著となりました。

美術館では、平常時の平成30年度と比べ、開館日数が91日減少、入館者数が4,369人減少しました。

文化ホールでは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休館に加え、舞台照明設備改修工事のため、1月24日から3月14日までを休館としたため、平成30年度と比べ、使用件数が114件、入場者数が79,276人の減少となりました。

文化交流館では、使用件数が平成30年度と比較し、1,164件の減少、利用者数は64,824人の減少となりました。また、2月、3月は、1階フロア全体をコロナワクチン接種会場として使用しました。

また、使用率(使用日数÷使用可能日数)は、文化ホールでは66%で、平成30年度と比較し、6パーセントの減少となりました。文化交流館の会議室等では、平均使用率が50%程度で、平成30年度と比較し、16%減少となりました。今後も、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みながら、適正な管理及び運営に努め、施設利用の促進に努めてまいります。

2. 市民の主体的な文化芸術活動を支援し奨励する事業(公益目的事業2)

陶芸やガラス工芸などに関する分野の専門知識、技能を習得する人材育成事業や創作・発表の機会を提供することで、市民の主体的な文化芸術活動を支援奨励し、地域の文化芸術の振興に寄与しました。

【人材育成の機会を提供する事業】

新世紀工芸館及び瀬戸染付工芸館では、次世代を見据えた若手作家の育成と伝統的技術の習得と継承を掲げ、これまで多くの研修生を受け入れてきました。研修施設では、自由な創作活動の場として、研修生が自ら選んだ課題に取り組み、地元作家や外部講師の指導や助言を受けつつ、主体的で独創的な制作活動ができるよう支援してきました。

今後も、施設のPR強化を図るとともに魅力ある研修機関として、さらに瀬戸焼の情報発信の場であり地域密着の研修施設として、積極的に研修生の受け入れを進めてまいります。

【文化芸術活動を支援・奨励するための事業】

歴史を重ねてきた第74回美術展や第70回文芸発表会には、部門により応募者数の差異はあるものの、令和3年度も多くの方からご応募いただき、関心の高さが伺えました。今後もより多くの皆様からご応募いただけるよう取り組んでまいります。

【発表する機会を提供する事業】

市民の文化芸術活動を促進するために、瀬戸市文化協会と連携して行う「文化の祭典」については、5月・6月開催予定でしたが中止となったため、その代替事業を11月・12月に開催しました。

また、ふれあい芸術展では、コロナ禍においても、それぞれ元気に過ごしている喜びを表現した作品を、25団体・22個人による作品を展示することができ、来館者に楽しんで鑑賞いただける機会を提供いたしました。

【将棋文化支援事業】

瀬戸将棋文化振興協会の事務局として、将棋を通じた伝統文化の継承や知識の普及向上を図るため、対局開設を中心としたオンラインライブを実施するとともに、地元棋士の応援活動として、懸垂幕の掲出や応援コーナーの開設等を行いました。

3. 文化財に関する調査・研究及び情報提供を行う事業（公益目的事業3）

瀬戸は平安後期から現代にかけて1000年余の歴史を持つ、国内を代表する陶磁器産地であり、その歴史は我が国の窯業史にとって重要な位置を占めると同時に、郷土の歴史にとっても重要な産業史であるといえます。

本市の最大の特徴である窯業史についての調査、資料収集、資料整理、研究を通して、情報及び学習活動の機会の提供を行いました。

また、市内で唯一の埋蔵文化財調査機関として、記録保存のための調査や学術調査を実施し、資料の保存や公開を行いました。

【埋蔵文化財の発掘調査及び資料の整理・保管、調査結果・研究成果の情報提供を行う事業】

当財団の使命から、文化芸術活動の振興とともに文化財保護活動は、やきものを基軸とした一体的な事業展開が求められております。そのうち文化財保護活動では、調査・研究・保存・活用といった点において、さまざまな角度から成果を明らかにし、展示・公開など情報提供に取り組んでまいりました。

発掘、確認調査では、O-G-15号窯跡（日進市）を始め5か所を調査し、貴重な資料が得られるとともに、今後、出土品の整理を進め、成果報告書の作成とともに、保存・活用に繋げてまいります。

【窯業史や文化財の調査・研究、資料の収集・整理を行い、成果の情報提供を行う事業】

瀬戸焼を中心とした文化財や窯業史に関して情報提供することにより、窯業史研究の発展に資するとともに、郷土の文化財や歴史への興味を喚起し、知識教養を深めるため、瀬戸焼データベースの構築や研究紀要の発刊を行いました。

【文化財に関する学習活動の機会を提供する事業】

文化財に関する学習活動では、窯業史に関する講演会や瀬戸蔵ミュージアム等における企画展示、文化財・史跡の見学会などを通じて、郷土の歴史に関心を持ち次世代に伝える文化財思想の普及に努めたほか、小学校などに講師を派遣し、文化財や歴史についての理解を深める学習機会の提供に努めました。

4. 公益目的事業の推進に資するために行う事業（収益事業1）

瀬戸市から管理運営を受託している文化センターの各施設について、空き時間の有効利用を図り、利用促進に繋げることを目的として、公益目的事業以外に貸与しました。

貸与実績の主な内容については、市役所等官公庁及び関係機関が、総会・大会・会議・全市的な催し物などに利用される場合のほか、民間企業及び団体による健康診断業務・各種相談業務・セミナー・研修会・勉強会・会議など幅広く利用していただいております。

中心市街地からも近く駐車場も完備しており、施設利用には適していることから、例年、同程度の利用実績がありますが、今年度は、文化ホールの舞台照明設備工事や新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休館、また、2月、3月は、新型コロナウイルスワクチン接種会場として文化交流館1階が使用されたことにより、通常の利用が減少しています。

引き続き、効率的な施設の維持管理に努め、利用促進を図ってまいります。

※ 当財団が業務上関係する瀬戸市文化センター（瀬戸市美術館・文化交流館）及び瀬戸市新世紀工芸館、瀬戸染付工芸館、瀬戸蔵ミュージアム、瀬戸信用金庫アートギャラリーは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、令和3年4月26日から6月20日、8月30日から9月30日まで臨時休館をいたしました。

II. 事業説明及び事業実績

1. 文化施設を活用して、市民が文化芸術に触れる機会と場を提供する事業

(1) 舞台鑑賞の機会を提供する事業（主催・共催公演事業）

① 文化ホール公演事業

(ア) 主催公演

事業名	開催日	入場料	入場者数
木嶋真優 ヴァイオリンリサイタル	7/11	4,000 円	226人 (定員412人)
いいもんせともんコンサート 弦楽器のおしごと	3/20	2,000 円 (高校生以下 500 円)	392人 内高校生以下55人 (定員412人)

(イ) 共催公演

事業名	開催日	入場料	入場者数
沖縄の伝統芸能「組踊」特別鑑賞会	10/9	—	中止
特撰東西落語名人会	11/25	4,500 円	565人 (定員723人)

② 音楽鑑賞・音楽活動普及公演事業

事業名	開催日	入場料	入場者数
CloSeToYou Classic ピアノで聴く憧れの名曲たち	9/19	—	中止
CloSeToYou Classic ギター&ヴァイオリン with せともの打楽器	6/27	1,000 円	85人 (定員225人)
JazzJuzz つなぎ Fes2021	11/20	2,000 円	245人 (定員400人)
CloSeToYou Classic 雅楽と源氏物語 ～日本のクラシック～	1/15	1,000 円	380人 (定員558人)

③ 舞台芸術普及及び体験型事業

事業名	開催日	入場料	入場者数
YouTube チャンネル 陶壁クラシックちゃんねる	—	—	1332回視聴 (3/31時点)
誰でも陶壁ピアノ	4/18	無料	約200人 (ピアノ参加者70人)
JazzJuzz つなぎ Fes2021 関連講座 初めてのジャズの嗜み	11/14	無料	27人
JazzJuzz つなぎ Fes2021 関連講座 アドリブ演奏から学ぶジャズの秘密	11/14	無料	30人

JazzJazz つなぎ Fes2021 関連講座 歌詞から読み取るジャズの名曲たち	11/14	無料	27人
---	-------	----	-----

(2) 美術鑑賞の機会を提供する事業 (企画展開催)

① 美術作品の展示を行う事業 (瀬戸市美術館企画展)

事業名	開催期間	入場者数
せとものフェスタ2021 特別展 帰郷の輸出陶磁— 横山美術館収蔵名品展—	4/17～8/1	1,333人
(同時開催) 企画展 金原テル也回顧展	6/5～8/1	

※4/26～6/20まで瀬戸市における「(新型コロナウイルス)感染防止策強化宣言」及び愛知県における「緊急事態宣言」に基づき臨時休館

特別展 北川民次コレクション全員集合!	8/7～9/26	494人
---------------------	----------	------

※8/30～9/26まで愛知県における「緊急事態宣言」に基づき臨時休館

【関連事業】

(ア) ギャラリートーク (中止)

会場 美術館展示室

日時 9月18日(土) 午後1時30分～

(イ) 北川民次 アトリエ公開 (中止)

会場 北川民次アトリエ (瀬戸市安戸町23)

日時 9月18日(土)、19日(日) 両日とも午前10時から午後3時

瀬戸市制施行92周年記念 令和2・3年度市町村立美術館活性化事業 第21回共同巡回展板橋区立美術館・豊島区所蔵「池袋モンパルナス—画家たちの交差点—」	10/2～11/14	1,589人
---	------------	--------

【関連事業】

(ア) スペシャルギャラリートーク

講師 豊島区文化商工部文化デザイン課学芸員 小林未央子氏

会場 美術館展示室

日時 10月2日(土) 午後1時30分～

参加者 20人 (事前申込制)

(イ) ガラス絵ワークショップ

会場 文化センター文化交流館22会議室

日時 11月3日(水) 午前10時～、午後2時～

講師 堀尾一郎氏

参加者 19人 (事前申込制)

(ウ) 北川民次 アトリエ公開

会場 北川民次アトリエ (瀬戸市安戸町23)

日時 11月6日(土)、7日(日) 両日とも午前10時から午後3時

来場者数 215人

磁祖加藤民吉生誕 250 年プレ事業 瀬戸市美術館特別展「川本治兵衛—瀬戸染付の精華そして湖東焼—」	11/20～3/13	2, 403人
(同時開催) 収蔵名品展	11/20～2/6	
山下清 木彫刻展	1/22～3/13	
瀬戸国際セラミック&ガラスアート交流プログラム 2021-2022 招聘作家作品展	2/12～3/13	

② 陶芸・ガラス工芸に特化した作品展示を行う事業（新世紀工芸館企画展）
 (ア) 展示棟企画展

名 称	開催期間	入館者数
「—Ceramic & Glass Artist Exhibition— SETO,TAJIMI,TOKONAME after graduate at NUA」	3/27～6/13	695人 R3:474人
ガラス企画展 「とける形、ふくらむ瞬間 横山翔平 小林千紗」	6/26～9/19	895人
「アーティスト・イン・レジデンス展」	10/9～1/16	1,142人
「第18期研修生修了作品展 第19期研修生作品展」	1/22～3/13	964人
ガラス企画展 Via Aichi 「愛知で学んだガラス作家展」	3/26～6/19	94人 3/31時点

※4月26日～6月20日、8月30日～9月30日の期間、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止措置として臨時休館

(イ) 交流棟2階企画展

名 称	開催期間	入館者数
「My Mug My Cup展」 同時開催「端午の節句展」	4/1～5/30	488人
「夏の陶とガラス展」	6/5～8/22	876人
「酒器展」	8/28～11/7	604人
「冬のおくりもの展」	11/13～1/16	926人
「雛とデザートのおつわ展」	1/22～3/13	1,265人

※4月26日～6月20日、8月30日～9月30日の期間、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止措置として臨時休館

③ 伝統的工芸品の展示を行う事業（瀬戸染付工芸館企画展）

名 称	会場	開催期間	入館者数
瀬戸市収蔵品展	交流館 2階	3/3～5/31	489人 R3：156人
瀬戸の染付－北新谷・南新谷を中心に－	交流館 2階	6/2～9/20	457人
瀬戸染付の近代－郷を中心に－	交流館 2階	9/22～12/27	640人
瀬戸染付の時代－洞を中心に－	交流館 2階	1/5～3/28	758人
新進染付作家作品展(前期)	本館 1階	3/24～11/8	861人 R3：818人
新進染付作家作品展(後期)	本館 1階	11/10～3/31	1,202人
瀬戸染付工芸館 修了生作品展(前期)	本館 2階	4/1～11/8	818人
令和3年度瀬戸染付工芸館研修生作品展	本館 2階	3/10～3/13	45人
瀬戸染付工芸館 修了生作品展(後期)	本館 2階	11/10～3/9 3/14～3/31	1,157人

※4月26日～6月20日、8月30日～9月30日の期間、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止措置として臨時休館

④ 地域の美術作品の展示を行う事業（瀬戸信用金庫アートギャラリー）

事 業 名	開催期間	入場者数
瀬戸信用金庫アートギャラリー企画展 瀬戸信用金庫新収蔵作家展	4/3～4/25	152人
瀬戸信用金庫アートギャラリー企画展 佃政道版画展	6/30～8/1	269人
瀬戸信用金庫アートギャラリー企画展 瀬戸信用金庫収蔵 北川民次コレクション	8/7～8/29	221人
瀬戸信用金庫アートギャラリー企画展 北川民次にゆかりのある作家達－Part1－	10/9～11/14	371人
瀬戸信用金庫アートギャラリー企画展 北川民次カレンダー展	11/20～12/26	295人
瀬戸信用金庫アートギャラリー企画展 瀬戸の陶壁	1/8～2/13	340人

瀬戸信用金庫アートギャラリー企画展 写真展 河本五郎の表情－伊里一彦撮影による－	2/19～3/27	228人
---	-----------	------

※4月26日～6月22日及び8月30日～9月30日まで新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により臨時休館

(3) 体験活動の機会を提供する事業

① 体験活動を行う事業

(ア) 新世紀工芸館の体験事業

名 称	開催日	参加者数
陶芸体験 (手びねり体験・絵付け体験)	原則として第1・第3日曜日に開催 5月、6月、9月分は延期して開催した。	220人 (2月末まで)
ガラス体験	年間8回ほど開催 5月(中止)、6月、7月、8月、11月、12月に開催。	66人 (2月末まで)
器セミナー ※	1月16日・30日の2日間で開催 (1回目:器の絵付け体験) (2回目:フラワーアレンジメント)	1回目:10人 2回目:9人

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止措置として未開催

(イ) 瀬戸染付工芸館の体験事業

名 称	開催日・開催期間	参加者数
瀬戸染付体験教室	原則として毎月開催。 各団体からの体験依頼も含む。	178人
出張!瀬戸染付体験教室	春日井市立岩成台西小学校(6月17日) 瀬戸市立にじの丘小学校(2月14日)	47人 112人
常設!瀬戸染付体験	通年で開催(誰でも気軽に染付体験) 4月1日～3月31日	357人

※4月26日～6月20日、8月30日～9月30日の期間、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止措置として臨時休館

ウ) 文化体験講座

事 業 名	開催日(期間)	参加者数
夏休み期間中の子供向け講座(三味線、茶道、壁掛け、マジック、日本舞踊、箏、フラダンス、書道、彫刻、尺八、百人一首、和太鼓、陶芸、囲碁)	7月21日～ 8月28日	182人

(4) 国際性豊かな芸術文化に触れる機会を提供する事業（国際セラミック & ガラス交流プログラム事業）

① アーティスト・イン・レジデンス

(ア) 招聘作家

招 聘 作 家	分野	国名	滞在期間
盧 承哲 (ノ スンチョル)	陶芸	韓国	12/13～2/14 (※)
杉山 絵子 (すぎやま えこ)	陶芸	日本	12/13～2/14

(※) 盧氏は、オンラインでの参加

(イ) 公開制作・スライドレクチャー

招 聘 作 家	開催日	開催場所	参加者数
盧 承哲 (ノ スンチョル)	2/5	新世紀工芸館 工房棟	15人
杉山 絵子 (すぎやま えこ)			

(※) 盧氏は、オンラインでの参加

(ウ) 招聘作家作品展

事 業 名	開催期間	開催場所	入場者数
瀬戸国際セラミック&ガラスアート交流プログラム 2021-2022 招聘作家作品展	2/12～ 3/13	瀬戸市美術館	1,078人

(5) 文化芸術に触れる場の提供を行う事業（文化施設運営事業）

内容：瀬戸市から指定管理者として受託した文化施設を、市民の文化活動の場として提供しました。

① 市民文化に触れる場の提供（地域文化広場運営事業）

(文化ホール)

会 場	令和3年度		前年度		対前年度比 (%)	
	件数(件) A	人数(人) A'	件数(件) B	人数(人) B'	件 数 A ÷ B	人 数 A' ÷ B'
ホール	147	31,642	108	18,032	136.1	175.5
リハーサル室(1)	82	2,002	128	3,081	64.1	65.0
リハーサル室(2)	61	350	29	298	210.3	117.4
リハーサル室(3)	27	196	16	148	168.8	132.4
小計	317	34,190	281	21,559	112.8 +36件	158.6 +12,631人

※令和3年4月26日～6月20日及び8月30日～9月30日の間、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により臨時休館
令和4年1月24日～3月4日の間、文化ホール舞台照明設備工事のため臨時休館
令和4年2月1日～3月31日の間、文化交流館1階をワクチン接種会場として使用

(文化交流館)

会 場	令和 3 年度		前年度		対前年度比 (%)	
	件 数 (件)	人数 (人)	件数(件)	人数 (人)	件数	人数
11会議室	154	6,215	176	5,130	87.5	121.2
12会議室	158	6,876	177	5,501	89.3	125.0
13会議室	175	6,785	249	6,067	70.3	111.8
21会議室	171	6,343	154	4,188	111.0	151.5
22会議室	229	11,197	198	7,910	115.7	141.6
31会議室	181	12,871	152	10,046	119.1	128.1
32会議室	203	2,713	174	2,656	116.7	102.1
ギャラリー	138	9,979	114	6,242	121.1	159.9
和 室	105	2,930	61	1,574	172.1	186.1
茶 室	37	273	0	0	-	-
小計	1,551	66,182	1,455	49,314	106.6 96 件	134.2 16,868 人
総合計	1,868	100,372	1,736	70,873	107.6 132 件	141.6 24,499 人

※令和3年4月26日～6月20日及び8月30日～9月30日の間、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により臨時休館
令和4年2月1日～3月31日の間、文化交流館1階をワクチン接種会場として使用

2. 市民の主体的な文化芸術活動を支援し奨励する事業

(1) 人材育成の機会を提供する事業（研修生育成事業）

(ア) 工芸分野における研修生の育成を行う事業（新世紀工芸館研修生）

コース	16・18期生	19期生	合 計
陶芸コース	16期 1人 18期 2人	3人	6人
ガラス工芸コース	特別研修生 1人	1人	2人

企画展名称	開催期間	開催場所	入館者数
【再掲】 瀬戸市新世紀工芸館 18期研修生修了作品展・19期研修生作品展	1/22～3/13	新世紀工芸館 展示棟	964人

(イ) 瀬戸染付技術における研修生の育成を行う事業（瀬戸染付工芸館研修生）

令和元年度入館生	令和2年度入館生	令和3年度入館生	合 計
1人	2人	0人	3人

企画展名称	開催期間	開催場所	入館者数
【再掲】 令和3年度瀬戸染付工芸館修了生作品展	3/10～3/13	染付工芸館 本館2階	45人

(ウ) 新世紀工芸館・瀬戸染付工芸館における研修生を支援する事業（新規）

名称	開催期間	開催場所	参加者数
「第1回座談会－加藤令吉氏」	7/15	文化交流館 12会議室	研修生8人
「第2回座談会－加藤令吉氏」	10/4	加藤令吉氏工房	研修生6人
「第3回座談会－長江重和氏」	12/13	長江重和氏工房	研修生8人
「和田奈津美氏による中国茶セミナー」	12/23	交流棟	研修生8人

(エ) 新世紀工芸館・瀬戸染付工芸館における研修生の作品展示を支援する事業

名称	開催期間	開催場所	参加者数
「瀬戸焼」×ナゴマリ」	5/28～5/30	名古屋マリオット アソシアホテル 20階	研修生3人
「ガラス陶芸新進作家作品展」	7/20～8/1	名古屋市民 ギャラリー矢田	研修生10人
「十一人展」	9/28～12/3	公立陶生病院 ギャラリー天青	研修生11人
「やきものワールド」	11/26～12/2	ドルフィンズ アリーナ	研修生5人
「七人展」	1/27～2/27	公立陶生病院 ギャラリー天青	研修生7人
「若手作家五人展」	2/7～2/13	名古屋 ユニモール	研修生5人
「新世紀工芸館 瀬戸染付工芸館 研修生紹介展」	3/12～4/10	せとまちツクリテ センター	研修生11人

(2) 文化芸術活動を支援・奨励するための事業

① コンクール（美術展・文芸発表会）

(ア) 第74回瀬戸市美術展

部 門	応募点数（内入选数）		美術展開催期間・場所
	令和3年度	令和2年度	
日本画	18(14)	19(19)	10/20(水)～24(日)

洋 画	97(88)	117(100)	入場者数 1,385 人 (前年度 1,718 人) 文化センター文化交流館
彫 刻	11(11)	15(15)	
陶 芸	45(32)	38(32)	
書 道	31(31)	25(25)	
写 真	101(101)	116(106)	
工芸美術	24(24)	34(33)	
合 計	327(301)	364(330)	

(イ) 第70回瀬戸市文芸発表会 () 内は前年度

部 門	選者選句	自選句	開催日・会場
俳 句	≪一般の部≫ 応募句数 555 句 (462 句) 特選 12 句、入選 76 句 第 70 回記念賞 4 句 ≪小中学生の部≫ 応募句数 618 句 (155 句) 特選 12 句、入選 84 句 第 70 回記念賞 4 句	応募句数 69 句 (51 句)	11/7(日) 表彰式 記念講演会 大塚 寅彦氏 参加者数 約 120 人
短 歌	≪一般の部≫ 応募歌数 401 首 (314 首) 特選 6 首、入選 54 首 第 70 回記念賞 2 首 ≪小中学生の部≫ 応募歌数 51 首 (113 首) 特選 6 首、入選 6 首 第 70 回記念賞 2 首	応募歌数 41 首 (33 首)	文化センター 文化交流館
川 柳	≪一般の部≫ 応募句数 429 句 (436 句) 特選 6 句、入選 46 句 第 70 回記念賞 2 句 ≪小中学生の部≫ 応募句数 143 句 (160 句) 特選 6 句、入選 14 句 第 70 回記念賞 2 句	応募句数 33 句 (37 句)	
詩	≪一般の部≫ 応募詩数 38 編 (31 編) 特選 2 編、入選 5 編 第 70 回記念賞 1 編 ≪小中学生の部≫ 応募詩数 23 編 (42 編) 特選 2 編、入選 4 編 第 70 回記念賞 1 編	応募詩数 12 編 (9 編)	

(3) 発表する機会を提供する事業（市民文化活動支援事業）

(ア) 舞台における文化活動の発表を行う事業（文化の祭典）

部 門	開催日	会場	参加人数
文化の祭典「洋楽Ⅱ」	11/23(火・祝)	文化センター文化ホール	250人
文化の祭典「洋楽Ⅰ」	11/28(日)	文化センター文化ホール	230人
文化の祭典「邦楽」	12/12(日)	文化センター文化ホール	370人
文化の祭典「詩吟・民謡・和太鼓」	12/26(日)	文化センター文化ホール	250人

(イ) 吟行会を通して文芸の発表を行う事業（ふれあい吟行会）

部 門	開催日	開催場所	参加人数
ふれあい吟行会 ※近隣地へ変更し開催	11/4(木)	雲興寺と小長曾窯跡	19人

(ウ) 美術、いけばな、茶道における文化活動の発表を行う事業（ふれあい芸術展）

部 門	開催日	開催場所	入場者数
書道展	7/16～18	文化センター 文化交流館	210人
ふれあい芸術展	10/27～31	文化センター 文化交流館	830人
市民茶会	10/31	文化センター 文化交流館	中止
新春いけばな展	1/29・30	文化センター 文化交流館	350人
新春茶会	1/29・30	文化センター 文化交流館	中止

(4) 将棋文化支援事業

瀬戸将棋文化振興協会の事務局として、将棋を通じた伝統文化の継承や知識の普及向上を図るとともに地元棋士の応援活動を実施。

(ア) 「封じ手」展示会の開催

6月29日（火）～6月30日（水）来場者：約500人

所有者の好意により、第61期王位戦第4局（木村一基王位（当時）

藤井棋聖（当時）の封じ手を展示

(イ) 地元棋士応援（藤井竜王）

7月 3日（土）棋聖防衛くす玉開き

8月25日（水）王位防衛くす玉開き

9月13日（月）叡王（三冠）獲得くす玉開き

9月14日（火）三冠獲得お祝い懸垂幕の掲出（瀬戸信用金庫）

11月13日（土）竜王（四冠）獲得くす玉開き

- 1 1月15日（月）竜王（四冠）獲得お祝い懸垂幕の掲出（瀬戸信用金庫）
- 2月12日（土）王将（五冠）獲得くす玉開き
- 2月14日（月）王将（五冠）獲得お祝い懸垂幕の掲出（瀬戸信用金庫）
- 3月18日（金）藤井聡太棋士応援コーナー開設（瀬戸信用金庫栄町支店）

(ウ)「新春オンラインせと将棋ライブ2022」の開催

1月9日（日）開催（瀬戸市文化センターから配信）視聴者：2,260人
木村一基九段、室田伊緒女流2段を招き、木村九段の対局、藤井竜王の対局を解説。将棋関連商品、瀬戸焼の紹介も行う。

3. 文化財に関する調査・研究及び情報提供を行う事業

(1) 埋蔵文化財の発掘調査及び資料の整理・保管、調査結果・研究成果の情報提供を行う事業（埋蔵文化財調査事業）

(ア) 埋蔵文化財の保護・保存のため、発掘調査や試掘調査を行う事業（発掘調査）

調査種別	遺跡名	所在地	調査面積	遺跡の時期	調査の時期
発掘調査	O-G-15号窯跡	日進市浅田平子	230 m ²	奈良・中世	1～3月
確認調査	中水野遺跡	中水野町	53 m ²	古墳	6月
	掛下遺跡	掛下町	40 m ²	中近世	7月
	新居1～3号窯跡	尾張旭市新居町	10 m ²	中世	7月
	上品野蟹川遺跡	上品野町	43 m ²	中世	10・1月
	瓶子窯跡	凧山町	16 m ²	近世	10～12月

(イ) 出土品の整理、発掘調査資料の整理を行う事業（整理作業）

遺跡名	所在地	発掘年度
穴山窯跡	山路町	平成30年度
若宮遺跡	若宮町	令和元年度
瓶子窯跡	凧山町	令和3年度

(ウ) 成果をまとめた報告書を刊行し公開する事業（報告書作成）
なし

(2) 文化財に関する学習活動の機会を提供する事業（普及啓発事業）

(ア) 瀬戸焼を中心とした窯業史についての講演会を開催する事業（歴史講演会）

演題	講師	日時	会場	参加者数
現代につながる明治のやきもの生産一町ごとのオリジナル商品の確立ー	中寫茂（公益財団法人土岐市文化振興事業団）	11/21 （日）	愛知県陶磁美術館本館地下講堂	約30人

(イ) 瀬戸焼をテーマとした企画展示を行う事業（文化財企画展）

展覧会名	会期	会場	入館料	入館者数
文明開化とせとやきー近代前期の瀬戸窯と美濃窯ー	10/16～ 12/5	愛知県陶磁美術館本館1階ギャラリー	無料	2,009人

【関連事業】

○展示説明会

会場：愛知県陶磁美術館本館1階展示説明室

日時：11月21日（日）

参加者数：約20人

(ウ) 瀬戸焼の歴史や民俗、産業史に関する常設展示を行う事業（瀬戸蔵ミュージアム常設展示）

(エ) 歴史・発掘調査成果等の企画展示を行う事業（文化財企画展）

展 示	開催場所	開催期間	入館者数
愛知県陶磁器技能士会展	瀬戸蔵ミュージアム中央通りギャラリー	4/24～8/22	3,588人
		4/26～6/20	臨時休館
新出土品展 小長曾陶器窯跡ー元禄に甦った室町の窯ー	瀬戸蔵ミュージアム企画展示室	6/21～8/1	2,222人
瀬戸染付ー山水画の世界ー	瀬戸蔵ミュージアム企画展示室	8/14～12/19	8,741人
土の詩 ー愛陶工陶芸部会展ー	瀬戸蔵ミュージアム中央通りギャラリー	8/28～12/12	7,473人
		8/30～9/30	臨時休館
むかしの道具展	瀬戸蔵ミュージアム中央通りギャラリー	12/18～2/13	4,067人
本業の技ー近世瀬戸村の名工たちー	瀬戸蔵ミュージアム企画展示室	1/15～4/10	8,398人 ※3/31まで
SAMS 陶展・愛陶工 高機能セラミックス展	瀬戸蔵ミュージアム中央通りギャラリー	2/18～4/17	5,309人 ※3/31まで

【今後の予定】

2/18～4/17 SAMS 陶展・愛陶工 高機能セラミックス展 瀬戸蔵ミュージアム中央通りギャラリー

(オ) 文化財、史跡の見学会等を行う事業（文化財見学会）

行事名	開催日	内容	定員
小長曾窯跡を知り尽くす	7/18	国指定史跡 小長曾陶器窯跡の概要説明	16人
広久手窯跡群の発掘現場を見に行こう	8/22	広久手古窯跡現地説明会及び植生の見学	18人
文明開化とやきものー連房式登窯の焼成実験の見学ー	11/7	愛知県陶磁美術館での展示解説及び焼成実験の見学	10人
秋の馬ヶ城	11/28	馬ヶ城地区にある遺跡の解説及び植生の見学	37人
江戸と昭和の登窯を見に行こう	2/5	瓶子陶器窯跡と一里塚本業窯の見学	17人

※新型コロナウイルス対応のため、定員を制限して開催。

(カ) 学校や市民の学習会に講師等を派遣する事業（講師等の派遣）

依頼者	派遣日	内容	対象
西陵小学校	5/25	瀬戸市の出土品に関する体験学習等	6年生 126人
幡山西小学校	7/1・2	埋蔵文化財センター施設見学	6年生 77人
品野台小学校	7/9	上品野蟹川遺跡出土品に関する体験学習等	6年生 14人
尾張旭市教育委員会	12/4	郷土の歴史講座「尾張旭市周辺の城と集落」	市民 33人

4. 公益目的事業の推進に資するために行う事業（収益事業1）

当財団が管理運営している文化センターの利用促進や空き時間の有効利用を図るため、公益目的事業以外に利用する個人や団体などに貸与しました。

Ⅲ. 庶務の概要

(1) 理事会

開催年月日	議事事項	会議の結果	会場
第1回 令和3年 5月21日	(1) 令和2年度事業報告に関する件 (2) 令和2年度決算報告に関する件 (3) 第10回定時評議員会招集に関する件	原案どおり 可決 " "	書面審議
第2回 令和4年 2月21日	(1) 令和4年度事業計画書に関する件 (2) 令和4年度収支予算書に関する件 (3) 令和4年度資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類に関する件 (4) 令和3年度の職務執行報告に関する件	原案どおり 可決 " " "	文化センター 文化交流館 31会議室

(2) 評議員会

開催年月日	議事事項	会議の結果	会場
第10回定時 令和3年 6月21日	(1) 令和2年度事業報告に関する件 (2) 令和2年度決算報告に関する件	原案どおり 可決 "	書面審議
第1回臨時 令和4年 3月22日	(1) 令和4年度事業計画に関する件 (2) 令和4年度収支予算書に関する件 (3) 令和4年度資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類に関する件 (4) 令和3年度の職務執行報告に関する件	原案どおり 可決 " " "	文化センター 文化交流館 31会議室

(3) 監査会

実施年月日	監査事項	監査結果	会場
令和3年 5月7日	令和2年度事業報告及び決算報告	適法適正 処理	文化センター 文化交流館 2階 21会議室

(4) 役員

役職名	氏名	任期
理事長	伊藤 保徳	令和2年6月21日から令和4年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
副理事長	亀谷 政代司	令和2年6月21日から令和4年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
常務理事	林 敏彦	令和3年4月1日から令和4年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
理事	横山 彰	令和2年6月21日から令和4年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
理事	水野 和郎	令和2年6月21日から令和4年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
理事	二宮 あづさ	令和2年6月21日から令和4年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
理事	太田 公典	令和2年6月21日から令和4年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで 令和4年4月13日付で辞任
理事	加藤 唐三郎	令和2年6月21日から令和4年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
理事	加藤 和守	令和2年6月21日から令和4年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
理事	若杉 福雄	令和2年6月21日から令和4年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
監事	小澤 修	令和2年6月21日から令和6年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
監事	戸田 仁司	令和2年6月21日から令和6年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで

(5) 評議員

役職名	氏名	任期
評議員	青山 一郎	令和2年6月18日から令和6年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	加藤 創子	令和2年6月18日から令和6年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	長江 重和	令和2年6月18日から令和6年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	杉山 仁朗	令和2年6月18日から令和6年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	鈴木 政成	令和2年6月18日から令和6年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	田中 博晶	令和2年6月18日から令和6年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	蟹井 富貴	令和2年6月18日から令和6年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	安田 文吉	令和2年6月18日から令和6年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	加藤 令吉	令和2年6月18日から令和6年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	涌井 康宣	令和2年6月18日から令和6年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで 令和4年3月31日付けで辞任

(6) 職員数

区 分	事務局		
	業務課	埋蔵文化財センター	合計
事務局長	1人(派)		1人
課長・所長	1人(派)	1人	2人
課長補佐・副所長	—	—	—
主査・主任	1人	1人	2人
主事	3人(派2)		3人
嘱託	4人		4人
臨時(常勤)	2人	1人	3人
合計	12人	3人	15人

(派)は瀬戸市からの派遣職員

区 分	管理事務所			合計
	文化センター	新世紀工芸館	瀬戸染付工芸館	
管理事務所長	1人	1人(派・兼)	1人(派・兼)	2人
次長	—	1人	1人(兼)	1人
嘱託	6人	3人	2人	11人
臨時(常勤)		3人		3人
合計	7人	7人	2人	16人

(派)は瀬戸市からの派遣職員

(兼)は合計に集計しない。

IV. 附属明細書

事業報告に係る重要な事項は全て前節までに記載してあるため、附属明細書として記載する事項はありません。